

小倉山通信

平成28年9月16日

角館中学校ホームページ http://www.city.semboku.akita.jp/sc_kakuchu/
 角館中学校ブログ <http://19850424.at.webry.info/>

No.20 通巻64

お祭りが終わって

平成28年度の国重要無形民俗文化財「角館祭りのやま行事」が、無事に終わりました。今年は、昨年度の反省を生かし、各丁内の曳山運行に関して安全性重視で取り組み、整然とした中にお祭りの特徴である少しの激しさもありながら、3日間の全日程を終えることができました。1・2年生で、「お祭りに関して」の集会が開催されましたので、ご紹介いたします。

第15回ブルーセッション 1年生

9月15日(木)の朝、第15回ブルーセッションが1年生でありました。今回のテーマは「お祭りの感想」です。

3名のスピーチを紹介します。

○A組 高木香緒さん

私がお祭りで心に残ったことは二つあります。一つ目は、観光山車ぶつ付けです。私は見ているだけでしたが、すごい迫力で心に残りました。二つ目は、出店巡りです。出店でしか売っていないものもあり、とても楽しかったです。その中で特に楽しかったのがチクチクです。チクチクは型を抜くのが難しかったですが、一つだけ成功して嬉しかったです。来年は山車ぶつ付けに参加したいです。



○B組 高村徳幸さん

僕のお祭りの三日間は山根に参加しました。楽しかったことが二つあります。一つ目は薬師堂に参拝したことです。薬師堂には最近行っていなかったの、久しぶりに参加できて良かったです。二つ目は本番に参加できたことです。山根は中央通りとやりました。後ろで引っ張ったり、山車に乗ったりして面白かったです。この三日間は中学生らしく参加できて良かったです。

○C組 永山咲さん

私がお祭りで楽しかったことが二つあります。一つ目は山車を押したことです。小学校のときは、山車を引っ張るだけでしたが、中学生では押すこともできて面白かったです。二つ目は、本番の山車ぶつ付けです。観光の山車ぶつ付けは今年やらなかったの、本番の山車ぶつ付けがとても面白かったです。出店に

はあまり行かなかったけれど3年生の先輩たち(西部若者)がとても優しくて楽しかったです。

感想発表は3名です。

○A組 山口隆真さん

僕は徳幸さんのように西勝楽丁の山車ぶつ付けに参加しました。その本番は菅沢丁内とやりました。結果は負けました。でも、初めて本番の山車に乗ったりできてとても楽しかったです。



○B組 田牧勇我さん

僕も徳幸さんと同じで本番に初めて参加してとても面白かったです。本番は菅沢とやって負けてしまいましたが、とても面白かったです。来年も本番に参加したいです。

○C組 佐藤日向さん

僕は徳幸さんと同じで本番の山車ぶつ付けが心に残りました。僕も徳幸さんと同じで山車の後ろで引っ張りました。来年も山車ぶつ付け(山根丁内)に参加できるようにしたいです。

○D組 佐々木稚那さん

私は咲さんと同じで、本番が一番楽しかったです。本番に参加することはできなかったけれど見ただけで楽しかったです。西部で踊りを頑張りました。この後、校歌の一番を全員で歌いました。

第13回ブラッシュアップ集会 2年生

9月16日(金)朝、第13回ブラッシュアップ集会が2年生で開催されました。テーマは「2016私のお祭り」です。スピーチを紹介します。

○A組 樋口陽南さん

今までの私にとってのお祭りは関心のないものでした。今までは、親と一緒に本番のお祭りの山車ぶつ付けを見たり、知り合いに会いに行っていました。でも中学生になってからは、お祭りに付かない生徒は調べ学習をする、ということで、お祭りについて深く知ることができました。良い経験になったのでこれからもお祭りのことをたくさん知っていきたいです。

○B組 藤原好葉さん

私の今年のお祭りは友達といることが多かったです。もちろん山車にも付きましたが、友達といることが多かったです。今年は天気が悪く例年にはないことがたくさんありましたが、それはそれとして楽しかったです。来年は中学校生活最後のお祭りのな

で、思い出に残るような楽しいお祭りにしたいです。

○C組 富山幸輝さん

私は今回のお祭りで、「どうやらお祭りはいつまでも続くか」というテーマをもって取り組みました。去年もテーマはありましたが、一日で忘れてしまいました。今年は二日間、テーマをもって取り組みたので良かったです。来年は、三日間取り組みたいです。その他にも、交渉員や先導を行いました。先導では、神明社まで行くことができ嬉しかったです。私なりにテーマを考えたところ、役割を次の世代に受け継いでいけば、いつまでもお祭りが続くと思いました。来年は中学校生活最後のお祭りなので、安全で怪我なく取り組みたいです。

感想発表も3名でした。

○A組 平澤秀太郎さん

私は幸輝さんの意見に共感できました。なぜなら自分も交渉員の仕事をしていたからです。交渉員だけでなく山車の荷物を運ぶ仕事なども行い、難しいところもありましたが、楽しく安全にできて良かったです。

○B組 松本唯さん

私は好葉さんの意見に共感しました。確かに来年は、中学校生活最後のお祭りになって思い出に残ることが多々あると思いました。私は、来年もお祭りに参加して貢献したいと思いました。



○C組 藤木奈緒さん

私は3人の発表を聞いて、角館のお祭りは続けていかなければならないと改めて思いました。私はお祭りに参加しませんでした。来年はもっとお祭りに関わってみたいです。

その後、全員で仙北市民歌を3番まで歌って集会を終わりました。

全県駅伝競走大会ならびに新人戦壮行式

9月15日(木)、18日(日)に秋田市雄和の県営陸上競技場周回コースで開催される全県駅伝競走大会ならびに、22日から先行開催される野球をはじめとする新人戦の壮行式が開催されました。

約40名ほどの保護者の皆さんをお迎えし、全校で応援しました。各部のあいさつでは、自分の名前を述べ、さわやかな秋にふさわしい部代表の言葉でした。

朗報をお待ちしております。生徒会執行部、応援団、オーケストラ部の皆さん、準備・運営方ありがとうございました。



2年C組 研究授業

9月15日(木)の2時間目、2年C組で山口晃正先生の研究授業がありました。

今年、山口先生は、コアティーチャー(CT)として、自分の一つの授業をビデオ撮影し、その授業を元に秋田県の国語科の皆さんが後日参観し、授業研究会をもつ、という役割を与えられました。

2年C組には、本日4台のカメラが入り、教師の動きを2台で、そして生徒のグループ活動様子や発表の様子を2台のカメラで撮影しました。

授業の内容は三浦哲朗の「盆土産」(ぼんみやげ)という作品を読んで、課題を決めました。

この文章の中で、「エビフライ」を東京に出稼ぎに行った父親がお盆にお土産として持ってきます。しかし、時代背景が、戦後間もない日本全土が貧しい時代だったので、「エビフライ」というものの存在すら、何だろう?と息子やその姉、おばあちゃんは考えてもイメージが湧かない訳です。いよいよお父さんが「エビフライ」を持って帰ってきます。そして、その晩、家族4人で食べます。そのうまいこと、うまいこと。それまで食べた中で、こんなにもさくさくして歯ごたえがよく、味が染み渡る食べ物の経験が無かった家族は、「エビフライ」に感激します。

文中には「エビフライ」という単語がたくさん出てきます。「盆土産」という単語は一か所しか出てきません。ならばどうして、題名が「エビフライ」ではなく、「盆土産」なのだろうか、これが2年C組の課題でした。

その課題を解決するために、「描写」ということを学び、自分が思ったことの根拠を文章から見つけ出します。自分で考えて、他の生徒の考えを聞いて、更に、自分の考えを深めていく。そして、授業



の最後に、ほとんどの生徒が、自分なりの課題解決をしました。代表生徒一人の発言に、2年C組全員が「あ〜〜」というため息をもらし、納得した瞬間、見ている私たちもなぜか分かりませんが、リオオリンピックの感動のように涙ぐんでしまったのでした。

課題解決については、他の学級でも行いますから、伏せておきますが、1時間いっぱい、集中力を切らさずに課題解決に意欲的に取り組んでくれた2年C組の皆さんの課題探究力に脱帽した時間でした。大いなる感動を、2年C組の皆さん、ありがとうございました。

◎TBC子ども音楽コンクール 合奏第二部門

テープ審査 優秀賞受賞 東北大会出場

東北大会 日時 10月16日(日)

場所 福島県郡山市民文化センター